

変性用シリコーン中間体 TSR160

TSR160は、分子末端に水酸基(シラノール)をもち、有機樹脂のシリコーン変性用に使われるシリコーン中間体です。有機樹脂のアルコール性水酸基(C-OH)とシラノール(Si-OH)との脱水縮合反応で、シリコーン変性有機樹脂が得られます。アルキド樹脂、ポリエステル、エポキシ樹脂、アクリル樹脂などのシリコーン変性に使用されます。また、各種有機樹脂との相溶性に優れていますので、配合用としても使用されます。

特長

変性することにより、樹脂の耐熱性、耐候性、光沢、電気特性等を改善します。
各種有機樹脂との相溶性に優れています。

用途

有機樹脂変性用

特性例

項目	特性値
外観	淡黄色透明
比重 (25)	1.07
粘度 (25) mPa·s{cP}	20{20}
不揮発分 (105 ,3h) %	60
官能基	水酸基
官能基含有量 %	4.5
溶剤	キシレン

樹脂との相溶性

溶液状態および硬化後の塗膜状態での相溶性は以下のとおりです。

樹脂	溶液	塗膜 (樹脂 : TSR160*)		
		70 : 30	50 : 50	30 : 70
アルキド樹脂 油長30				
アルキド樹脂 油長65				
熱硬化性アクリル樹脂				
ブチル化メラミン樹脂				
エポキシ樹脂 (エピコート828)				
エポキシ樹脂 (エピコート1001)	x ~	x		
エポキシエステル樹脂				
フェノール樹脂				
スチロ - ル樹脂	x	x	x	x

シリコーン TSR117				
シリコーン TSR144				
シリコーン TSR165				
アクリル変性シリコーン TSR170				
エポキシ変性シリコーン TSR194				

注 溶液 : 相溶する : わずかに白濁する X : 相分離する
 塗膜 : 透明 : わずかに濁る X : 不透明(白濁)

* : 樹脂分としての配合割合

樹脂の種類、性状、重合度、溶剤、TSR160の配合量によっては相溶性が異なることがありますので、事前に確認試験をしてからお使いください。

使用方法

使用目的により、下記のように配合量を変えて使用してください。

使用目的	配合量(樹脂分として) %	効果
耐熱仕上げ用	30以上	色焼けが少なくなる
耐候性改善用	20 ~ 30	耐候寿命が2 ~ 3倍向上
レベリング用	1 ~ 5	刷毛さばきの改善

取扱い上の注意

取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を使用してください。

引火性があるため、火気のない所で取扱ってください。

局所排気装置を運転し、換気をよくして作業してください。

保管

直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。

子供の手の届かない所に保管してください。

荷姿・梱包

1kg金属缶(1ケース10P入り)

18kg石油缶

200kgドラム

消防法危険物

第4類第2石油類

発行：2000年10月/改訂 2002年5月、TSR160 J

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。 ・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。

・安全性に関する詳細な情報につきましては、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。 ・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。



モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

<http://www.momentive.jp>

テクニカルアンサーセンター
東京本社(営業)
大阪支店
名古屋支店
九州営業所

TEL.0276-20-6182、0120-975-400 FAX.0276-31-6259
TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122
TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-252-8255
TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750
TEL.092-291-2056(代) FAX.092-262-1411